

各区だより

名東区 めいめいとう

ゴルフ場で 「お花見会」と「紅葉狩り」

昭和56年から愛知カントリー倶楽部のご厚意で毎年、4月「お花見会」、10月「紅葉狩り」が開催されます。

10番ティーグラウンドを舞台として名東区の日本民謡研究会4社中の皆さんによる踊りから始まります。毎回、趣向を凝らし、派手やかな着物姿で、40分間たっぷり踊りは、いつも参加者を楽しませてくれます。春は、「市ポッカレモン消防音楽隊」による演奏と「リリーエンゼルス」のドリル演技、秋は、「タックさんの大道芸」を披露していただいています。

クラブごと、場所を陣取り、飲み物・お菓子・お弁当などを食しながら、歓談。他学区のお



知り合いを見つけ「お久しぶり！」と交流の場となっております。思う存分のお喋りができるのがこの会の魅力です。

11時過ぎ、お土産を頂き解散。その後、近くのお食事処で会食するクラブもあります。

参加者数の最高は平成12年10月の781人でその後500人以上が続きましたが、コロナ禍で中止後の令和4年10月332人、令和5年4月412人でした。今後の参加者の増加を期待しています。

なお、名東区老連では、平成28年からは天白区老連に、また令和元年からは名東鯉友会にも参加の呼びかけをしております。
(加藤 誓)



天白区 てんぱく

クラブ活動を通して 会員獲得

平針南学区八千代会は、第1クラブから第4クラブまであり、4クラブの中から、会長1名・副会長3名・理事13名・会計1名(副会長兼務)・監事2名を決め、事業全体の運営を行っています。

主な事業は、新型コロナで3年間開催できませんでしたが(一部除く)、感染対策が緩和されたことを受け、令和5年4月開催の総会・誕生会から行うことができました。

大きな事業として、平針南コミニティセンターを利用し、年5回(総会兼ねる4月・6月・9月・11月・新年会兼ねる1月)の誕生会と、「八千代会たより」の発行です。

この会誌は、八千代会の現状を記したもので、令和5年4月発行が143号になり、誕生会の席で皆さんに配布、出席できなかった方には、理事が自宅にお届けしています。



令和5年は、中止となっていた日帰り旅行を一日千秋の思いで復活。4月に35名で「高遠お彼岸桜まつり」に、7月に38名で「絶景の三方五湖」



のんびり若狭路」を楽しむことができました。

近年、老人クラブの会員が減少傾向にあります。原因は、定年制の延長、年金以外の収入を得るため働く人が多くなったことではないかと思われまます。

会員を獲得するため、八千代会にある7つのクラブ(スポーツ・園芸・卓球・健康麻雀・書道・シニアトレーニング体操・ハンドメイドクラブ「結」)の活動を身の回りにいる人や学区外の方にも積極的に紹介、声掛けを行うことで会員減少の歯止め効果となっております。

会の運営に欠かせないのが、地域の平針南学区自治会・民生委員・児童委員協議会・平針南小学校との協力関係。これら地域団体との関係を重視し、行事があるごとに役員・会員を派遣し交流を図っています。

(山田 悟友)